



くすの木

県立図書館だより

第83号

平成 28 年 3 月発行

兵庫県立図書館

〒673-8533 明石市明石公園 1 番 27 号

TEL (078) 918-3366

レファレンス専用 918-3377

<http://www.library.pref.hyogo.lg.jp>

http://www.library.pref.hyogo.lg.jp/i_top.html

兵庫県立図書館では、昨年度に迎えた開館40周年を契機に、図書館が単に本を貸し出し、人と本が出会うだけの場所ではなく、様々な活動を通じて、ネットワークが拡大し、県民のあらゆる世代が知で結ばれ、交流し、創造活動や実践活動につながるよう、知とネットワークと創造の拠点となる未来型図書館の実現に向けて取り組んでいます。その一端をご紹介します。

ひょうご子ども読書活動推進フォーラム



伊藤洋一さん



中元孝迪さん



古本強さん



河合雅雄さんと永田萌さん

文部科学省から「読書コミュニティ拠点形成支援事業」の委託を受けて、児童生徒が読書に親しむ環境を作るため“本モノ体験”～本・モノ・ヒト～「図書館」を新たな「まなび」の空間に～と題して、児童生徒にとって身近で親しみやすい題材を用いてひょうご子ども読書活動推進フォーラム事業を進め、豊かな多様性を有する県内の地理的・文化的なまとまりごとに5地区で「宇宙」「世界文化遺産姫路城」「生物多様性」「防災」「食と農」といった地域資源をテーマに地区フォーラムを実施。その5地区の成果と課題を全県フォーラムにつなげる展開で実施しました。

ひょうご子ども読書活動推進フォーラム 全県フォーラム

12月20日に神戸市勤労会館で公立図書館と学校との連携強化を目指した、「子ども読書活動推進フォーラム全県フォーラム」を開催。第1部では、県立人と自然の博物館岩槻邦男名誉館長に「いいもの本モノものがたり」、また島根県立大学短期大学部小泉凡教授に「地域資源としての小泉八雲」と題してそれぞれご講演をいただき、「公立図書館と学校との連携強化」をテーマに岩槻さん、小泉さん、三田祥雲館高校の藤本明子教諭、当館の川東丈純総務課長兼企画・広報チーム長によるトークセッション、また、ビブリオ堂ちんげんさいとサンダリンによる三味線朗読講談「小泉八雲の草ひばり」を実施し、第2部では、ビブリオバトル甲子園決勝大会を行いました。トークセッションでは「兵庫県は自然も文化も多様性に富んでいる、子ども読書活動推進の取組も多様であるが、その多様な取組の普遍的なシステムづくりが大切」といった意見が出され、今後一層子ども読書活動推進に取り組む決意を新たにしました。



ひょうご子ども読書活動 推進フォーラム地区フォーラム

県下5地域の地区フォーラムでは、各地域での地域資源をテーマにした講演やワークショップ、また各地域での子ども読書活動推進に向けた取組を紹介し意見交換するトークセッションや、ビブリオバトルの地区予選を行いました。

播磨東地区

地区テーマ「宇宙」



【ホシノ・カケラン】

- 講演では「宇宙と本」と題して兵庫県立大学西はりま天文台伊藤洋一センター長にお話しいただき、伊藤センター長、明石市立天文科学館井上毅学芸係長や公立図書館、学校関係者によるトークセッションを実施。
- 大型方言講談絵本「宇宙探偵ホシノ・カケラン」の実演や、企画展示関連講座で作成した宇宙絵本のブックトーク、ビブリオバトル地区予選を開催。



播磨西地区

地区テーマ「世界文化遺産姫路城」



【クロダ・カンベッチョナイ】

- 講演では「姫路城ものがたり」と題して播磨学研究所中元孝迪所長にお話しいただき、中元所長、児童文学作家の尾崎美紀さんや公立図書館、学校関係者によるトークセッションを実施。
- 大型方言講談絵本「カンベッチョナイものがたり」を実演し、ビブリオバトル地区予選を開催。



但馬地区

地区テーマ「生物多様性」



【シオトリ】

- 絵本作家でイラストレーターの永田萌さんによる、絵本「みえとコウノトリ」の朗読にあわせ、霊長類学者で児童文学作家の河合雅雄さんと永田さんとの子ども読書対談を実施。
- コウノトリ湿地ネット森薫事務局長や公立図書館、学校関係者によるトークセッションやビブリオバトル地区予選を開催。



阪神・丹波地区

地区テーマ「防災」



【ナマスウシ】

- 兵庫県立人と自然の博物館加藤茂弘主任研究員によるワークショップ「地震のしくみと断層ドミノ」では、参加者みんなで断層を表すドミノでのドミノ倒しを行うことで、マグニチュード9の地震のエネルギーを体感し、加藤主任研究員や公立図書館、学校関係者によるトークセッションを実施。
- 「稲むらの火」の原作である小泉八雲「生き神」を三味線朗読講談で実演し、ビブリオバトル地区予選を開催。



神戸・淡路地区

地区テーマ「食と農」



【Mr.ハグクマン】

- 講演では「いただきます」と題して龍谷大学農学部古本強教授にお話しいただき、古本教授や公立図書館、学校関係者によるトークセッションを実施。
- 淡路の重要な地域資源といえる阿久悠の作品から「瀬戸内少年野球団」の三味線朗読講談を実演し、ビブリオバトル地区予選を開催。



特別展示・企画展示等

県立図書館ではふるさとひょうごゆかりのテーマを設定して本・モノ・講座を行う特別展示をはじめ、様々な所蔵資料を活用した展示を行っています。今年度も多くの展示を行いました、その一端を紹介します。

●特別展示宇宙本モノ大作戦!展 (7月17日～10月14日)

宇宙をテーマに絵本や図鑑・研究書等の“本”とJAXAの「日本の航空機開発」年表、(株)IHIエアロスペースの「ペンシルロケットレプリカ」、オメガエンジニアリングの検査機器や、海洋堂のフィギュア、明石工業高等専門学校の「はやぶさ2イオンエンジン模型」などの宇宙を感じられる“モノ”を展示しました。

関連イベントとして、「第30回ISTS兵庫・神戸大会宇宙博」にも出展し、大型方言講談絵本「宇宙探偵ホシノ・カケラン～タコアナ号宇宙の旅～」の三味線講談をはじめ、ワークショップやブース展示を行いました。



特別展示関連講座「自由研究大応援!」では、子どもたちが明石公園内の植物や昆虫を実際に観察・採取し、「いきものマップ」を作成したり、講談をきいてイメージをふくらませて、オリジナルの「紙ねんど宇宙人フィギュア」を作りました。他にも、明石市内の施設との連携ワークショップ「宇宙の絵本をつくろう」では、各施設の見学や図書館の本等の学びを通して絵本作りを行いました。これらの作品は館内で展示し、多くの方々に宇宙について触れていただく機会となりました。



●特別展示アートショカン!!展 (10月16日～1月20日)

尼子事務所との共催で朝日学生新聞社の協力を得て、「立原えりかのグリム童話原画展」を開催し、著名作家の絵本原画等26点を展示。関連講座として、「大木雅之助とちんげんさいのグリム童話な時間」と題して、絵本の朗読を聞き、参加者が想像して登場人物を描き、大閲覧室に展示。また、県立施設と連携して、「横尾忠則のY字路展」等、開催中の展覧会にあわせた展示や(株)フェリシモの協力を得て、抽象画を描くお絵かき講座「いろいろな線と色で遊ぼう」や「まる・さんかく・しかく」行い、作品をロビーに展示し、アート作品と関連本でアートを体感していただく機会を提供しました。



●企画展示・図書展示等

本と展示物や講座をあわせた企画展示も「大坂夏の陣400年・後藤又兵衛展」「わたせせいぞう本とカレンダー展」「戦後70年日本の軌跡」「健康を考える」等数多く行い、関係機関と連携し、様々な地域課題や記念事業、調べ学習等に対応する資料を展示しています。また、水木しげるさんの追悼展示「ひょうご妖怪談義：小泉八雲、柳田國男、そして水木しげる」と題して、水木さんに影響を与えたひょうごゆかりの人物とその著作を紹介し、野坂昭如さんの追悼展示「野坂昭如さんを作品で振り返る」では、作品や野坂さんが発行した直筆原稿雑誌等とともに、「火垂るの墓」関連資料とあわせ神戸空襲時の焼失箇所を記した地図を展示しました。



兵庫県立図書館のとりくみ

えほんdeピクニック

4月25日、26日に、こどもの読書週間行事「えほんdeピクニック」を開催。2日目は明石公園の芝生の上にもラグ（敷物）を敷き絵本を並べ、遊びにきた人々に、気軽に絵本に親しんでいただきました。絵本の他にも様々なワークショップを行い、ちんげんさいの似顔絵コーナーでは、いろんな顔の本や生き物の本の中で似顔絵を描き、みんなの顔を折り紙に貼り付ける「君もおおむしになろう!」を開催し、ドジョウやザリガニ、クマバチ（オス）など普段あまりさわれない生き物とのふれあいでは、子ども達はその動きや感触に夢中で、多様な本につながるきっかけになりました。また、1月6日にも、大学連携モデル事業として開催。武庫川女子大学文学部教育学科・金子ゼミのご協力で、学生による科学実験ワークショップを行いました。洗濯のりなどで作る「カラフルスライム」やプラスチックコップを貼り合わせた「空飛ぶプラコップ」飛ばしに、子どもも大人も楽しみながら参加しました。



館外巡回イベント

県立図書館では館外巡回イベントとしてふるさとひょうご特別展示で展示したモノや、自由研究大応援!の講座など、県立図書館から館外へモノや講座をセットで巡回し、様々なアウトリーチ活動を展開しています。5月6日には加西市との連携事業で作成した大型方言講談絵本「ホナマタペーものがたり」を加西市健康福祉会館で開催された「後藤又兵衛フォーラム」で披露しました。7月4日から8日には神戸コンベンションセンターで「第30回ISTS兵庫・神戸大会宇宙博」に参加し、実行委員会との連携事業で作成した大型方言講談絵本「宇宙探偵ホシノ・カケラン〜タコアナ号宇宙の旅〜」の講談やワークショップを実施しました。



●平成27年度 図書館地区別研修（近畿地区）

平成28年1月19日～22日の4日間、「連携する図書館」を研修テーマに平成27年度図書館地区別研修（近畿地区）を明石商工会議所で開催しました。これは、近畿地区の公共図書館の中堅司書を中心に情報化の進展など図書館に関する最新のテーマや地域における課題等について研修を行うもので、「未来の図書館、はじめませんか?」を執筆された岡本真さんの基調講演や慶応大学教授の糸賀雅児さん、図書館サービス計画研究所の仁上幸治さんによる講義、また、絵本作家でイラストレーターの永田萌さんとたかいよしかずさんによる「絵本のチカラと子ども読書」と題した講演とトークセッション、そして「連携する図書館の今後の展開と可能性について」と題して、パネルディスカッションを行い、多くの方のご参加をいただきました。

平成27年度 図書館地区別研修

